

# デザイン学部 高校生のための大学授業開放2018



デザイン学部では、広く社会や地域に貢献できるデザイン力とマネジメント力を備えた人材を育成するために、様々な授業を行っています。本学部の授業を通して、デザインの重要性やそれを学ぶことの楽しさを知っていただくために、高校生を対象に学部教員による授業開放を開催します。

開催日：平成30年8月18日（土）13:30～16:00

場 所：岡山県立大学 デザイン学部棟 ※受付は13:00より**学部共通棟（北）8201講義室**  
 総社市窪木111 JR桃太郎線 服部駅より徒歩5分、無料駐車場有

受講料：無料

申込期間：平成30年7月1日（日）～31日（火） ※定員に達し次第締め切ります

13:30-13:50 開会／オリエンテーション [実技・講義共通] \* **学部共通棟（北）8201講義室** ※受付は13:00より

時間	申込番号	授業名	定員
実技 14:00-16:00	A	建築のデジタルデザイン（畠助教 / 建築・都市領域） コンピュータを用いた建築のデザインや表現手法について、3次元CADを使った簡単な演習を通して学びます。	10名
	B	レーザーカッター入門（中原助手 / 製品・情報領域） はじめてレーザー加工機を使う高校生を対象に、データ作りからレーザー加工までを行います。	10名
	C	印刷で表現の幅を広げる（関崎准教授 / ビジュアル領域） プレス機を用いて、エンボス・空刷りを体験します。インクを使わない印刷で、どんな表現が生まれるか、挑戦してみましょう。	10名
	D	フェルトメイキング（難波教授、島田准教授、岡本助教 / 造形領域） ウールは私たちの生活の中でとても親しまれている素材です。この授業では、ウールの原毛を用いて、フェルトによる柔らかなペーパーウエイトの制作を体験します。	15名

時間	申込番号	授業名	定員
講義 14:00-15:30	1	イスと建築のデザインにまつわる5つの物語（福濱教授 / 建築・都市領域） 建築家は建物だけではなく家具などもデザインします。ある建築家のデザインした家具は、建築デザインにおいても重要な「何か」を共有しています。授業では、5つのイスを実際に用意します。それらにふれながら、その大切な「何か」を考えていきます。	25名
	2	つかいやすいをデザインする（益岡准教授 / 製品・情報領域） 私たちは普通の生活で、いろいろな製品を使います。デザイナーはその製品について、使う人の立場に立って考え、色や形をデザインします。この講義では「つかいやすい」をキーワードに、さまざまなデザインを紹介します。	25名
	3	ゲーム制作ミニワークショップ（山下講師 / ビジュアル領域） 今やデザインする上で欠かせないキーワードとなっている“インタラクティブ（双方向性）”。既存アナログゲームである“じゃんけん”を改善・リメイクしながら、デザインにおけるインタラクティブ性とは何か？また、インタラクティブ性をどうデザインしていくかについて、講義+ミニワークショップ形式で説明します。	25名
	4	造形デザインの気づきと見立て（吉原教授 / 造形領域） 造形デザインの“表現=X”が、何か別のかたちや構造さらには意味の関係=Yに似ていると気づくとき、そこには見立ての想像力が働いています。講義では、豊富な事例に触れ、見立ての視点からみたコミュニケーション・デザインの工夫を語ります。	25名

実技・講義の終了時間は、前後することがあります。

○お申し込み方法  
 本学のホームページ (<http://www.oka-pu.ac.jp/>) をご覧下さい。

○お問い合わせ先  
 岡山県立大学 事務局教学課  
 TEL : 0866-94-9161 (直通) FAX : 0866-94-2196

